

TOSHIBA 東芝マルチリモートコントローラ取扱説明書

対象機種

AARM-1000

このたびは東芝マルチリモートコントローラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのマルチリモートコントローラを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

目次

安全上のご注意	2
特 長	5
各部のなまえとはたらき	6
設置のしかた	8
接続のしかた	10
取付け、接続が完了したら	14
ディップスイッチの設定（アドレス、外部制御設定）	15
設定のしかた	16
設定項目	16
出荷時の初期設定内容	17
設定の手順	17
初期化のしかた	18
ブロック放送スイッチの設定	18
マイク音量の設定	21
一斉放送動作の設定	23
優先の設定	25
外部制御入力の設定	27
ブロック放送スイッチの確認	29
外部制御入力の確認	32
放送のしかた	34
調整のしかた	36
ちょっとお調べください	36
修理サービス	36
仕 様	37
外形寸法図	37

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

＜生産完了 2006年02月09日＞
AARM-1000 (1 / 37)

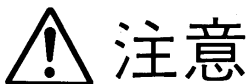
安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警告

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

- 通風のよい場所に設置してください。高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。
 - サウナや風呂場など
 - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 夏の窓を閉めきった自動車の中
 - 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の直上やその付近
 - 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所



- この機器は、次のような使いかたはしないでください。
 - 風通しの悪い狭い所におしこむ。
 - テーブルクロスなどをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。
 - 仰向けや横倒し、逆さにする。



- 表示された電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



- この機器は改造しないでください。火災、感電の原因となります。



- 使用電源（DC 24V）には極性がありますので逆に接続しないでください。極性を逆に接続しますと本機およびインターフェイスパネル等の故障および火災の原因となります。



警告

〔使うときの注意〕

- この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。



- この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの
入った容器や小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。



- この機器の底板は絶対に外さないでください。
感電の原因になります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず電源線
をはずして、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、
感電の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常な音がするなどの異
常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。
すぐに、電源線をはずして、煙が出なくなるのを確認してから、
販売店に修理をご依頼してください。



- 万一、この機器を落したり、ケースを破損した場合は、電源線
をはずして、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



- 雷が鳴りだしたら、本体には触れないでください。
感電の原因となります。



注意

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 移動させる場合は外部の接続コードを外してから行ってください。
そのまま移動するとコードに傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



- 本機の上にオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。
倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



- 機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



- 本機への配線はスピーカ線や調光器系統、AC電源系統とは必ず別配管とし離して布線してください。
同一配管しますと、発振やノイズ発生、誤作動の原因となります。



- 施工完了後は必ず取り外した端子カバー等は元通りに戻してください。
戻し忘れると感電、地絡の原因となります。



〔使うときの注意〕

- 本機の上に乗ったりしないでください。
特にお子様にはご注意ください。
こわれたりして、けがの原因になることがあります。



- この機器の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。



- 使用中に突然音が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに電源線をはずして、お近くの販売店にご相談ください。
そのまま放置しておくと、大変危険です。





注意

- 1年に一度ぐらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。



- ヒューズを交換するときは必ず▽マークの指定容量のものをご使用ください。針金や銅線は使用しないでください。機器の保護ができず、発熱、火災の原因となります。



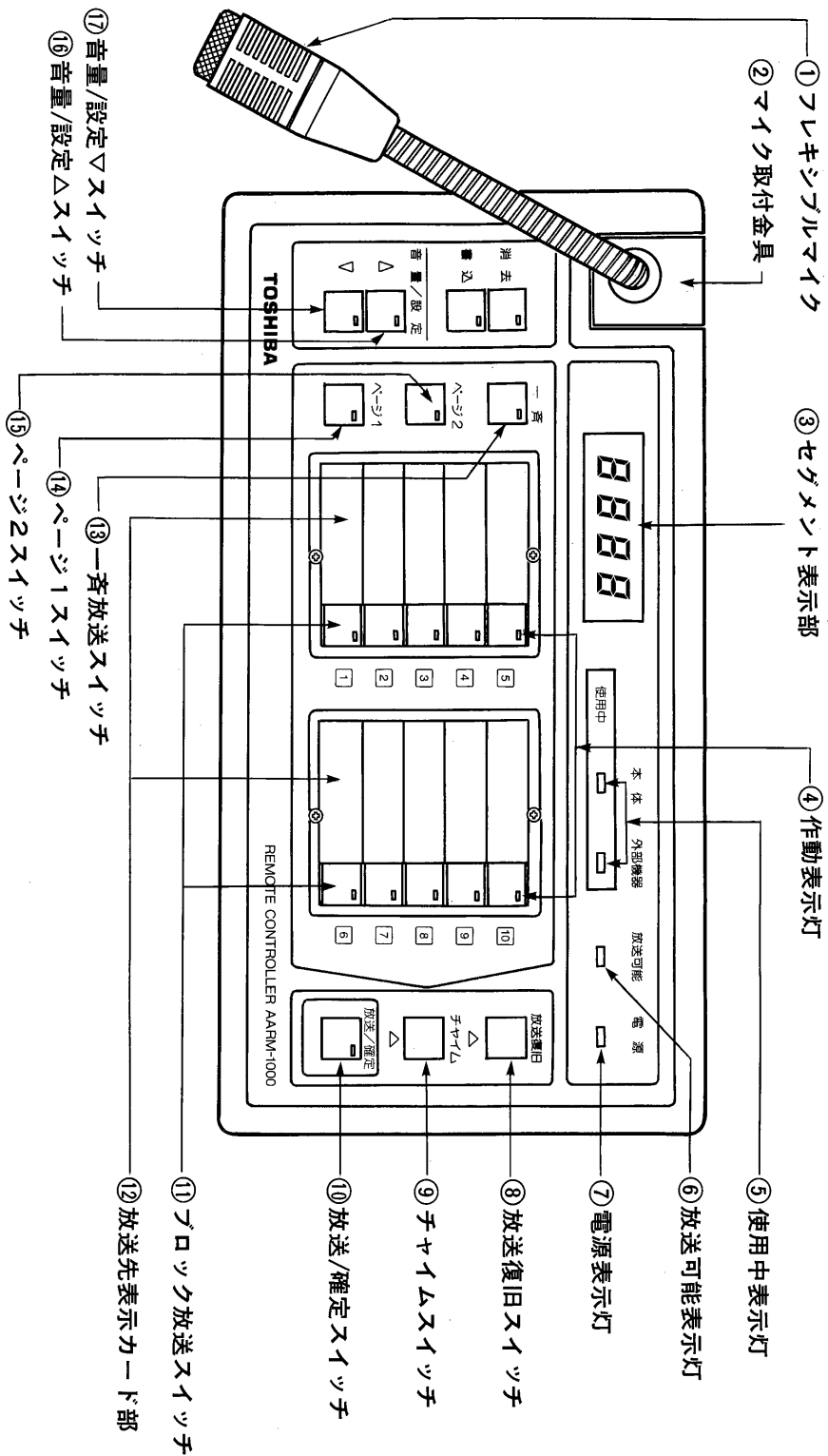
特 長

- 10個のブロック放送スイッチは、ページ1、ページ2の切り替えにより20局のブロック放送スイッチとして使用できます。
- ブロック放送スイッチ20局に、スピーカ回線最大200回線を任意に複数回線割り付けることができます。
- マルチリモコンインターフェイスパネルに最大15台まで接続できます。
- マルチリモコンインターフェイスパネルとの接続は、電源線(ツイストペア線)、データ線(ツイストペア線)、音声線(2芯シールド線)で済み省線化されています。
- マイクの音量ボリュームは、電子ボリュームを採用し、信頼性を向上しています。
- 4音チャイムを内蔵していますので、放送前の予告音として使用できます。
- 卓上使用の他、別売の壁取付金具を使用して壁取付での使用も可能です。

各部のなまえとはたらき

前 面

[通常使用時]



① フレキシブルマイク

② マイク取付金具

- 設置状態（卓上、壁取付）に合わせて、取付方向を変えられます。

③ セグメント表示部

- 7セグメント表示で4桁あります。
- 音量設定時の音量レベルおよび外部制御入力時に制御入力番号を表示します。

④ 作動表示灯

- 放送先が選択されたときに点灯または点滅します。
- 放送可能なときは点灯し、優先度の高い他の機器が使用中で放送できないときは、点滅します。

⑤ 使用中表示灯

- 現在放送中の機器を表示します。
- 本体使用中…ロツカー本体で操作して放送中に点灯します。
- 外部機器使用中…ロツカー本体に接続した外部機器が動作中に点灯します。

⑥ 放送可能表示灯

- 本機から放送可能ときに点灯します。

⑦ 電源表示灯

- ロツカー本体より電源が供給されているとき点灯します。

⑧ 放送復旧スイッチ

- 放送終了時に押します。
- 選択されていた放送先が解除されます。

⑨ チャイムスイッチ

- マイク放送前の予告音としてチャイム音を放送するとき押します。
- 4音チャイムが1回放送されます。

⑩ 放送/確定スイッチ

- フレキシブルマイクで放送するときを押します。（表示灯が点灯します。）

⑪ ブロック放送スイッチ

- ブロック放送するとき押して選択します。
- 再度押すと選択は解除されます。

⑫ 放送先表示カード部

- 止めねじ2本をはずして、アクリル板の下のカードに放送先を記入してください。

⑬ 一斉放送スイッチ

- 一斉放送を行なうときに押します。

⑭ ページ1スイッチ

- ブロック放送スイッチをスイッチ1～10として使用するとき押します。

⑮ ページ2スイッチ

- ブロック放送スイッチをスイッチ11～20として使用するとき押します。

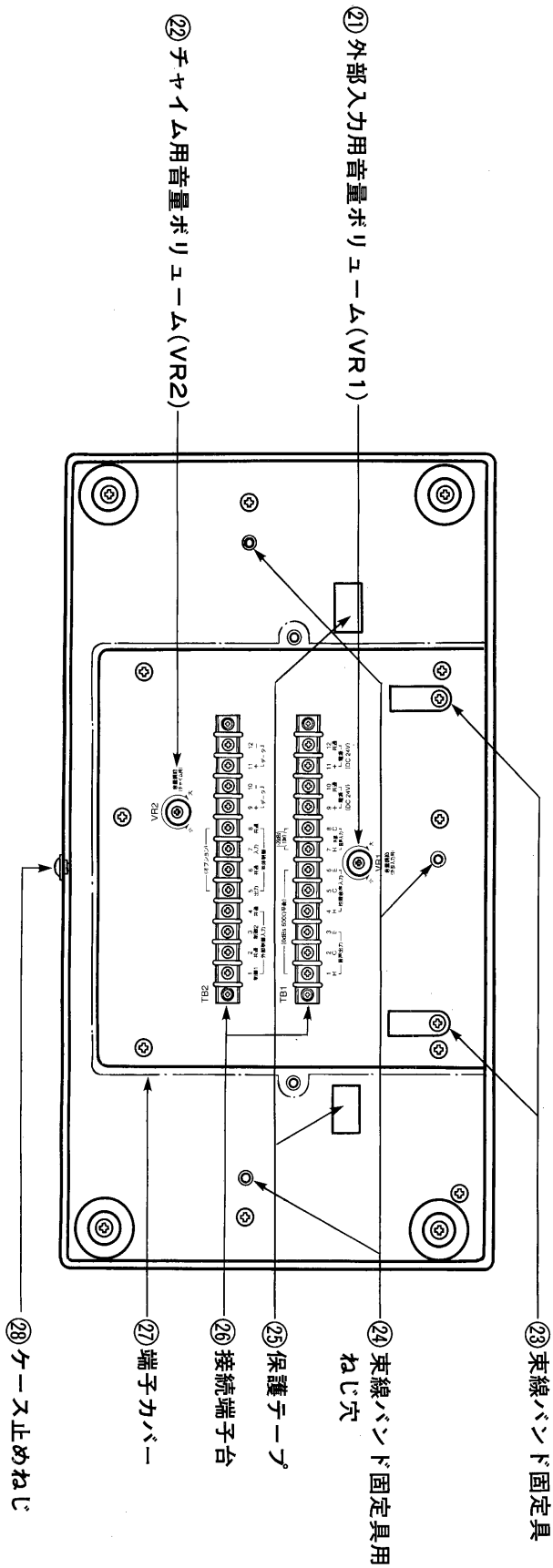
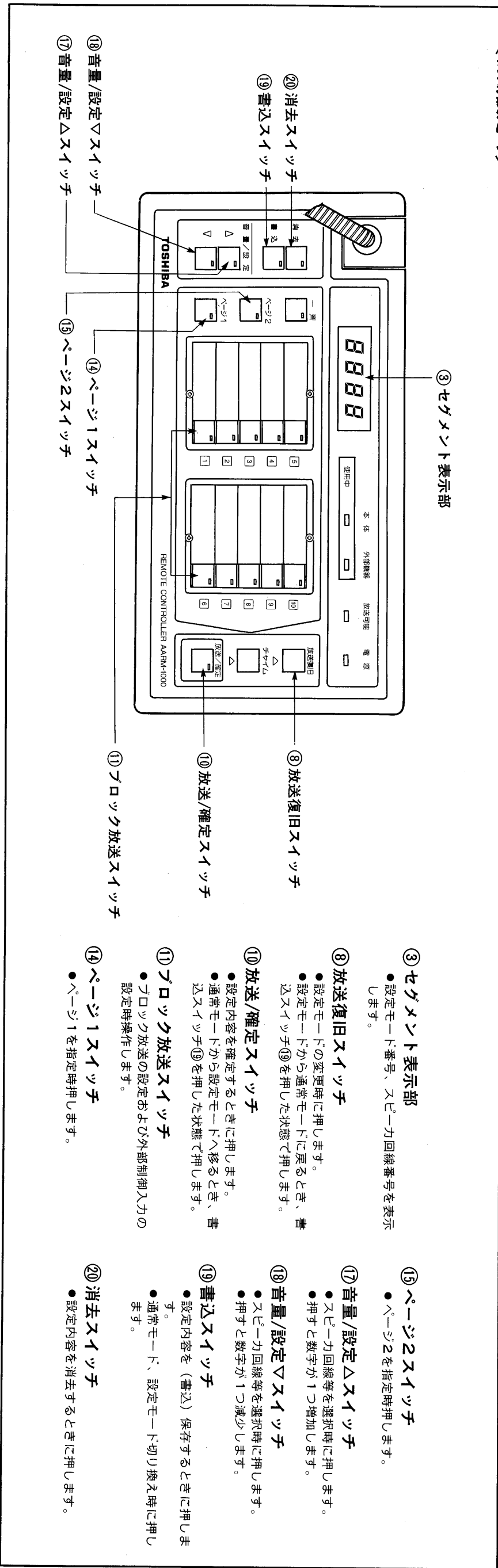
⑯ 音量/設定△スイッチ

- フレキシブルマイクで放送中音量を上げるときに押します。

⑰ 音量/設定▽スイッチ

- フレキシブルマイクで放送中音量を下げるときに押します。

〔初期設定時〕



③セグメント表示部
●設定モード番号、スピーカ回線番号を表示します。

⑧放送復旧スイッチ
●設定モードの変更時に押します。
●設定モードから通常モードに戻るとき、書込スイッチ⑨を押した状態で押します。

⑩放送/確定スイッチ
●設定内容を確認するときに押します。
●通常モードから設定モードへ移るとき、書込スイッチ⑨を押した状態で押します。

⑪プロック放送スイッチ
●プロック放送の設定および外部制御入力の設定時操作します。

⑭ページ1スイッチ
●ページ1を指定時押します。

⑮ページ2スイッチ
●ページ2を指定時押します。

⑰音量/設定△スイッチ
●スピーカ回線等を選択時に押します。
●押すと数字が1つ増加します。

⑱音量/設定▽スイッチ
●スピーカ回線等を選択時に押します。
●押すと数字が1つ減少します。

⑲書込スイッチ
●設定内容を（書込）保存するときに押します。
●通常モード、設定モード切り換え時に押します。

⑳消去スイッチ
●設定内容を消去するときに押します。

②①外部入力用音量ボリューム(VR1)
●外部入力の音量を調節するボリュームです。

②②チャイム用音量ボリューム(VR2)
●内蔵の4音チャイムの音量を調節するボリュームです。

②③束線バンド固定具
●外線ケーブルを固定する束線バンドを穴に通して固定します。

②④束線バンド固定具用ねじ穴
●束線バンド固定具を止めるねじ穴です。

②⑤保護テープ
●壁取付金具を使用する場合にはかします。

②⑥接続端子台

- ロツカー本体のインターフェイスパネルおよび他のワルチリモコンなどの接続端子です。
- 接続方法は（10～14ページ）をご参照ください。

②⑦端子カバー
●接続端子台を保護するカバーです。

②⑧ケース止めねじ
●別売の壁取付金具を使用して、壁取付時本体を壁取付金具に固定するためのねじです。

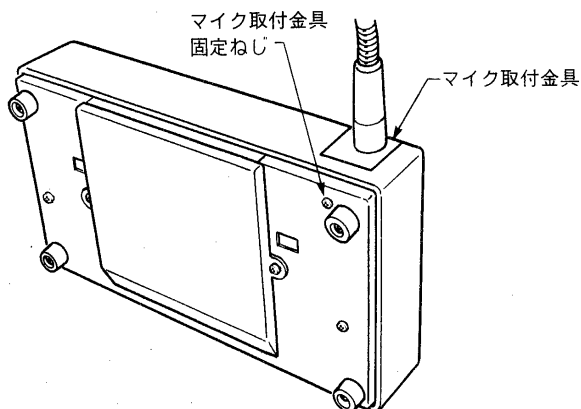
設置のしかた

- 本機は、卓上または壁取付のいずれの取付でも使用できます。
- 壁取付の場合は、別売の壁取付金具（形名：LAD-9004）が必要です。

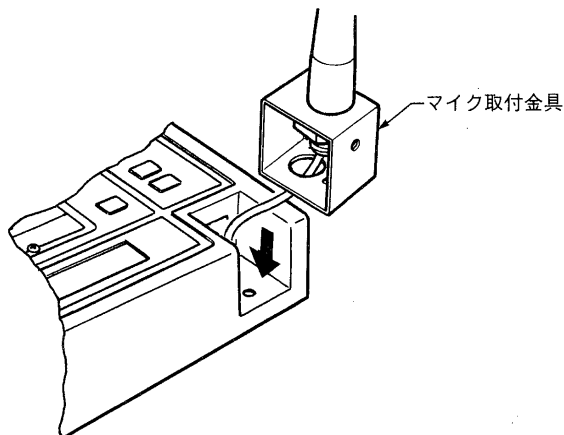
卓上形の場合 ……〔マイク取付金具の取付変更が必要です。〕

- フレキシブルマイクの取付が出荷時は壁取付用の取付となっていますので、次の手順にて卓上用に付けかえてください。

①底面のマイク取付金具固定ねじをはずします。



②マイク取付金具を引き出し、フレキシブルマイクが下図のように前面パネル面にくるように90°回転させます。

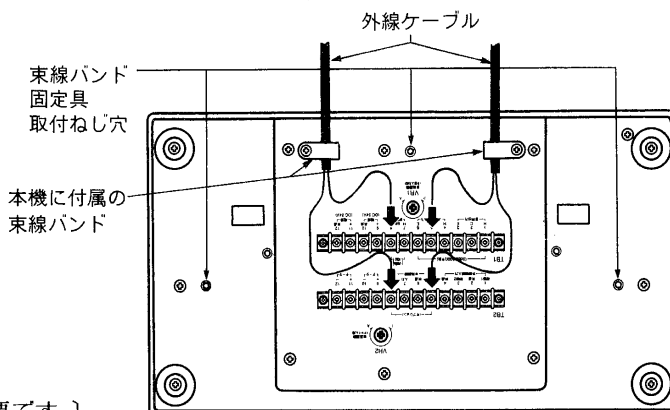


③マイク取付金具を（①項ではずした）固定ねじでねじ止めます。

④底面の端子カバーを止めねじ2本をはずして、外線を端子台に接続します。…（接続のしかた12～14ページ参照）

外線は束線バンド固定具と束線バンドで固定します。

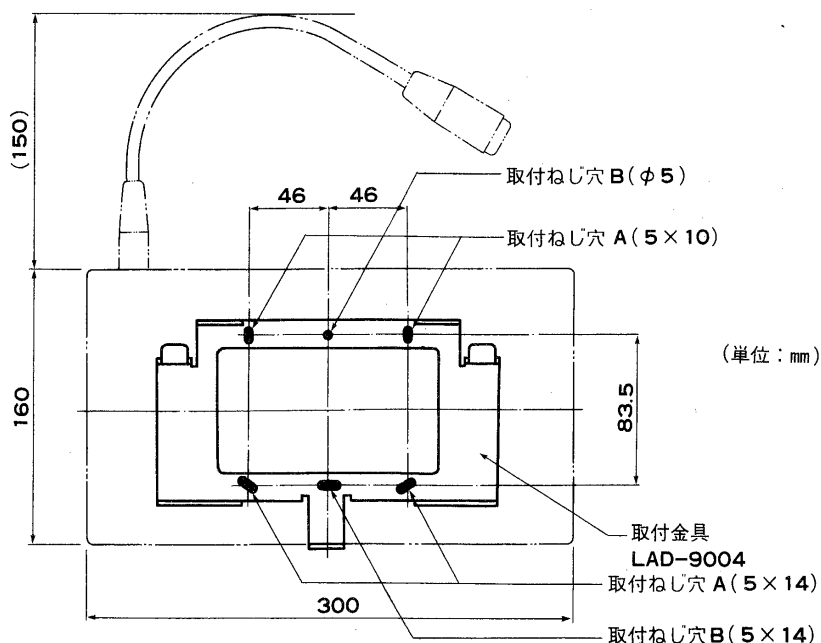
⑤端子カバーをもとを通り取りつけます。



壁取付の場合 ……〔別売の壁取付金具 LAD-9004が必要です。〕

- 別売の壁取付金具 LAD-9004を使用して次の手順で壁面に取り付けてください。

①取付金具を壁面に取り付けます。



<生産完了 2006年02月09日>
AARM-1000 (8 / 37)

●壁面に壁取付金具を下記の要領で固定してください。

1) コンクリート壁の場合

- φ4のアンカーボルト4本を取付金具の取付ねじ穴(A)に合わせて壁に埋め込みます。
- 壁取付金具の取付ねじ穴にアンカーボルトを通してナットで止め固定します。

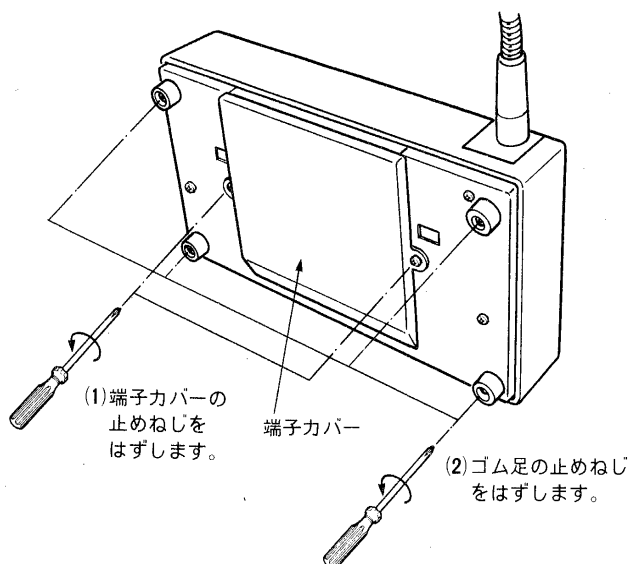
2) 板壁の場合

- 壁取付金具に付属の木ねじ6本で、取付ねじ穴(AとB)を使用して、壁面に固定します。

3) スイッチボックス取付の場合

- 3個用スイッチボックスに、壁取付金具に付属のM4のねじ6本で取付ねじ穴(AとB)を使用して、スイッチボックスに取付けます。

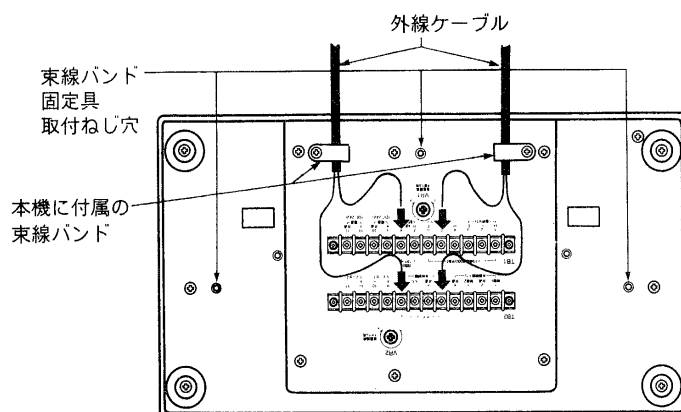
②本機の底面の端子カバーとゴム足を取りはずします。



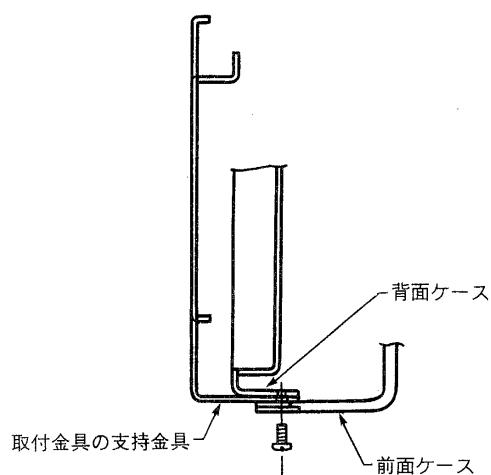
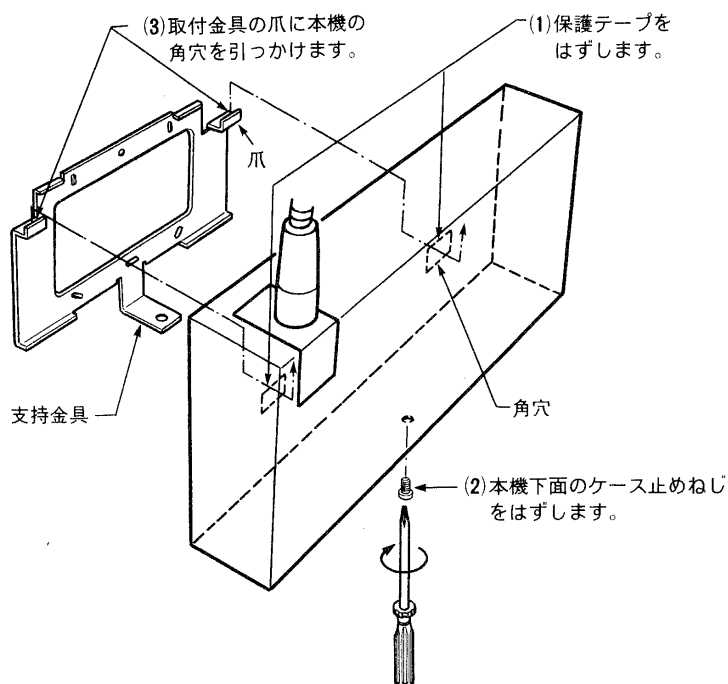
③外線を接続端子に接続します。

(接続のしかたは10～14ページ参照)

- 接続後は、束線バンド固定具と束線バンドで外線を固定します。



④本機を取付金具に下図の要領((1)～(4)の手順)で固定します。



- (4)取付金具の支持金具を本機の背面ケースと前面ケースの間に通し、(先にはずした)ケース止めねじで本体を壁取付金具に固定します。

接続のしかた

■本機が接続できるのは、次のシリーズのロッカー形非常放送アンプです。

ALF-2004Rシリーズ
形名：ALF-2024R

ALF-1504Rシリーズ
形名：ALF-1524R

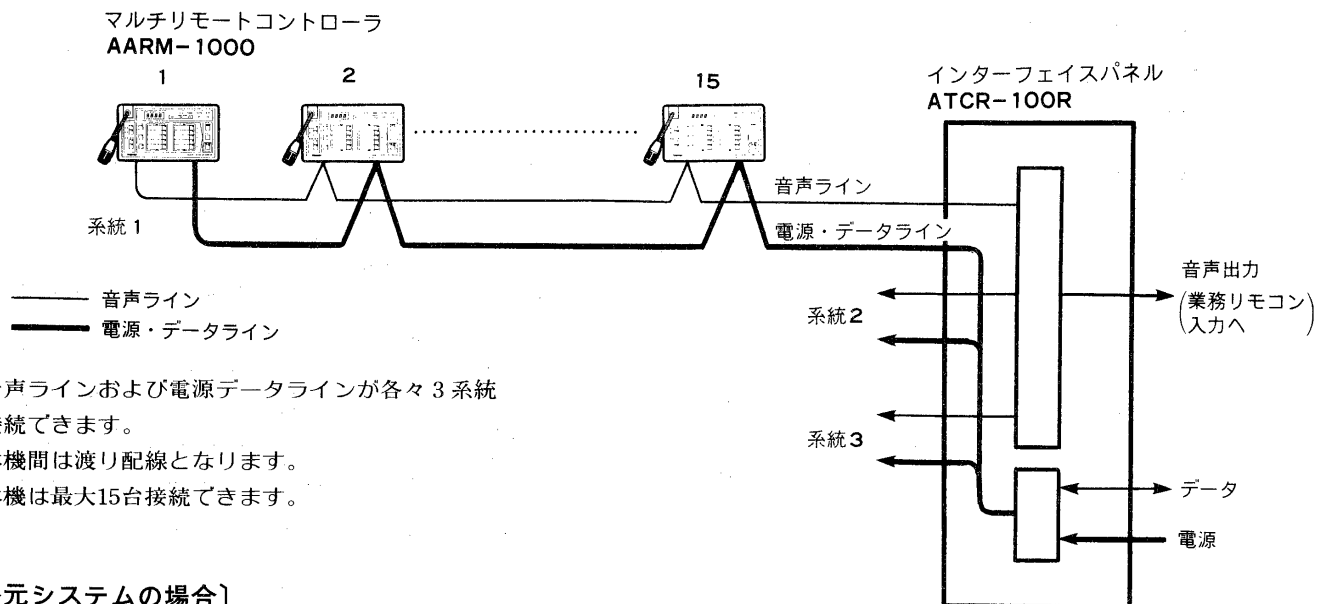
■接続のためには次のオプションパネルが必要です。

〔単元放送システムの場合〕マルチリモコン用インターフェイスパネル ATCR-100R……1台

〔多元放送システムの場合〕マルチリモコン用インターフェイスパネル ATCR-100R……1台
マトリクスパネル APMX-201 ……1～4台

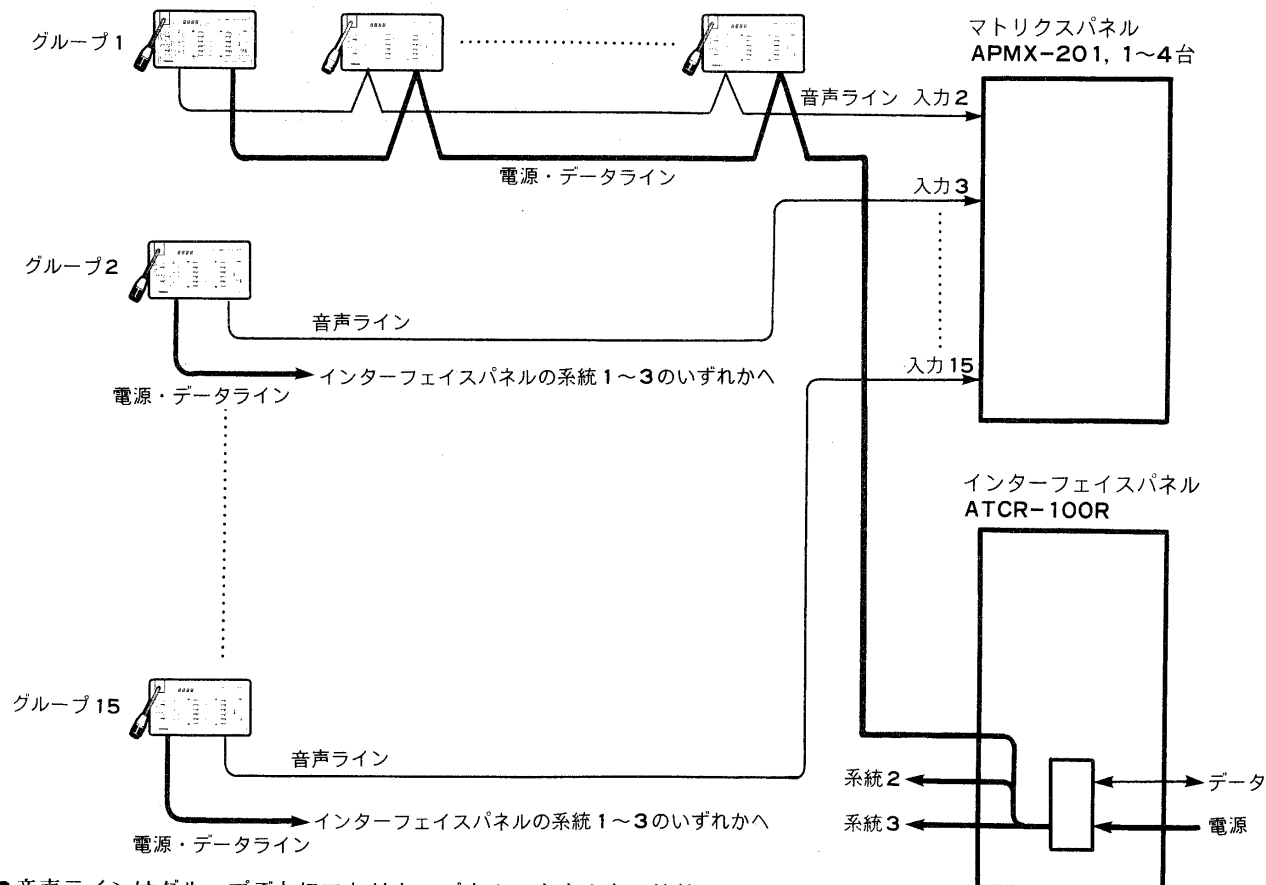
■各機器間の接続方法は、次のとおりです。

〔単元システムの場合〕



- 音声ラインおよび電源データラインが各々3系統接続できます。
- 本機間は渡り配線となります。
- 本機は最大15台接続できます。

〔多元システムの場合〕



- 音声ラインはグループごとにマトリクスパネルの音声入力に接続します。
- 電源・データラインは、インターフェイスパネルに接続します。最大3系統接続できます。
- 本機は合計で最大15台接続できます。(グループ各々15台ではありません)

■配線距離、使用電線は次のとおりです。

- 音声ライン : 2芯シールド線……………1本
- 電源ライン : ツイストペアケーブル……………1対
- データライン: ツイストペアケーブル……………1対

ご注意

- 音声ラインには、2芯シールド線を使用しないと音声ノイズが発生しますので必ず2芯シールド線を使用してください。
- データラインと電源ラインは、ツイストペア線を使用しないと誤動作や音声への伝送ノイズ混入の原因となりますので、必ずツイストペア線を使用してください。

■最大配線距離は1系統あたり800mです。

■許容線路抵抗値は、下記のとおりです。

- 1対で線路抵抗値がこの値以内にならないときは、2対以上使用して許容抵抗値以下になるようにしてください。

許容抵抗値

- 音声ライン (2芯シールド線1本当り): 最大50Ω (1系統あたり)
- データライン (ツイストペア線1対当り) : 1系統に接続する本機の接続台数によって異なり、下表のとおりです。

その系統の本機の 接続台数	最大許容抵抗値	その系統の本機の 接続台数	最大許容抵抗値
1 台	10Ω	6 台	1.6Ω
2 台	5Ω	7 台	1.4Ω
3 台	3.3Ω	8 台	1.2Ω
4 台	2.5Ω	9 台	1.1Ω
5 台	2Ω	10 台	1Ω

- 電源ライン (ツイストペア線1対当り): 1系統に接続する本機の台数によって異なり、下表のとおりです。

本機の合計接続台数	最大許容抵抗値
1～5 台	50Ω
6～10 台	20Ω
11～15 台	15Ω

■配線のしかた

●音声ライン、電源ライン、データラインの接続のしかた

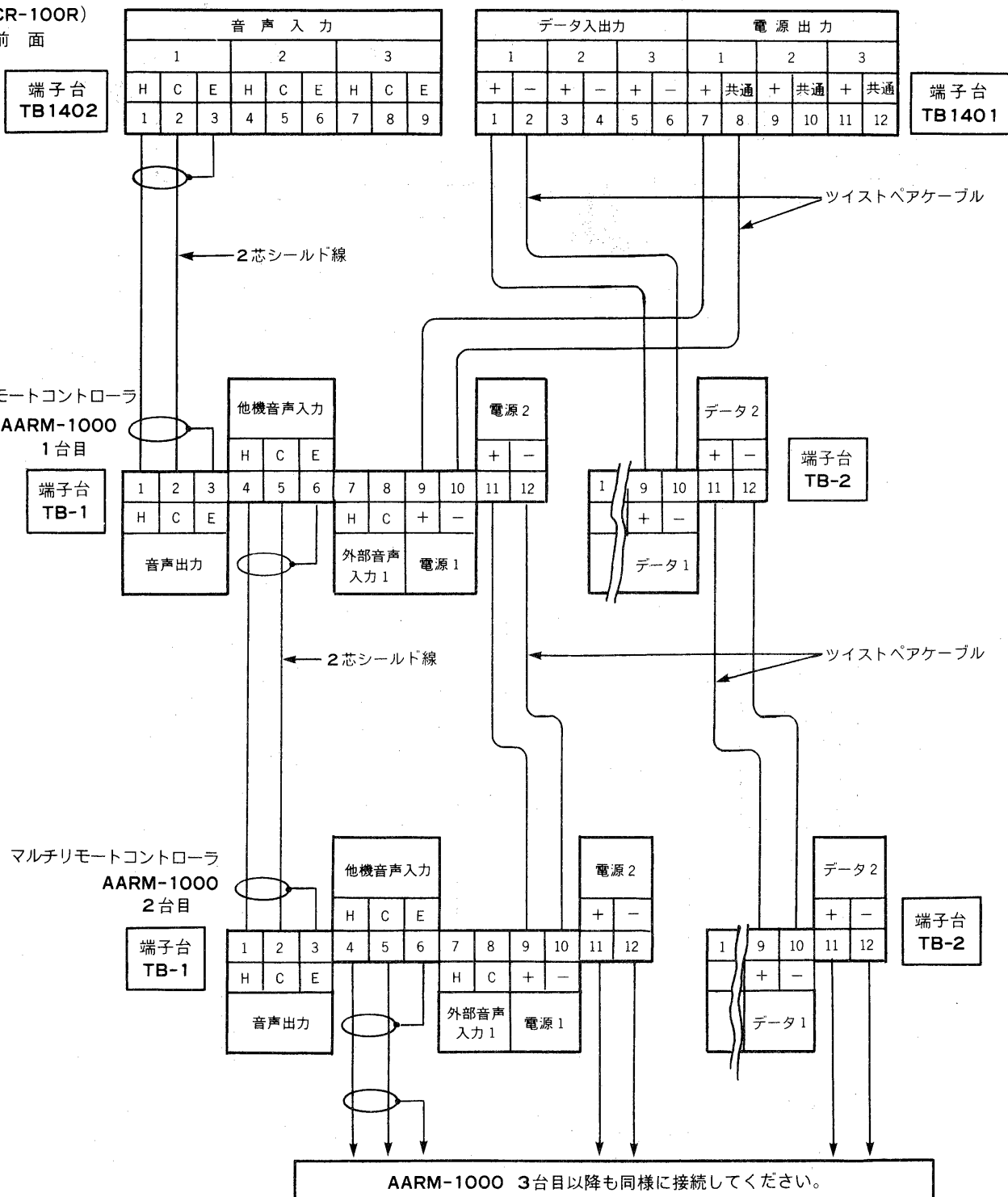
〔単元システムの場合〕

●下図のとおり、インターフェイスパネルと接続してください。

インターフェイスパネル

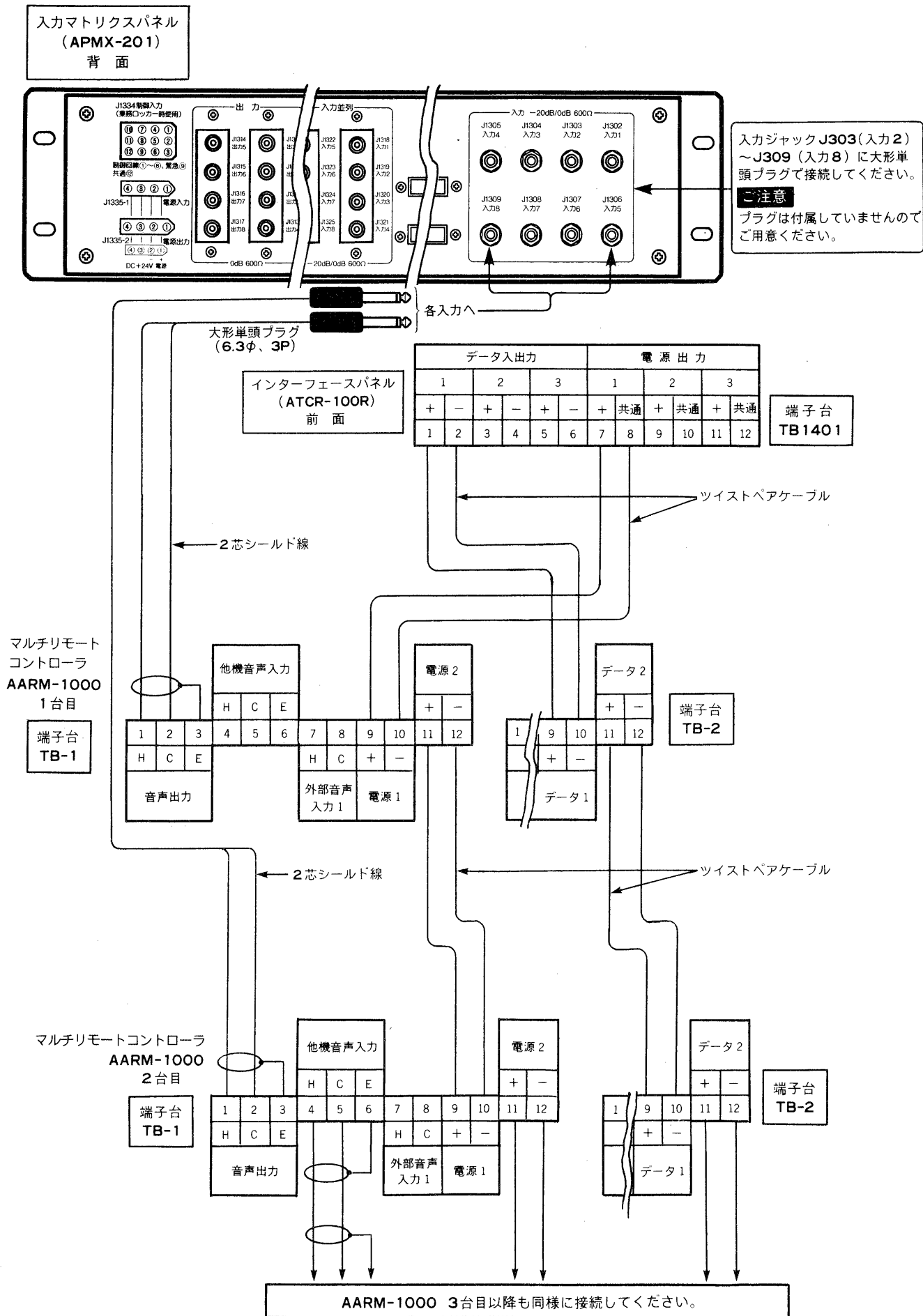
(ATCR-100R)

前面



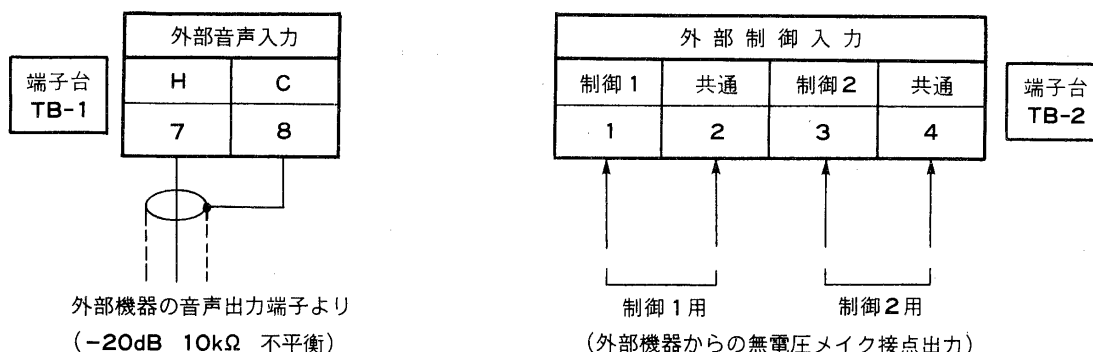
〔多元システムの場合〕

- 下図のように、インターフェイスパネルおよび入力マトリクスパネルと接続してください。



●外部入力接続のしかた

- 外部機器より音声を入力して放送する場合は、下記のように接続してください。
- 外部機器からの起動信号（無電圧メイク接点）で放送先を選択して放送する場合は、外部機器からの起動信号を本機の外部制御入力端子に下記のように接続してください。制御入力は2回路あります。
（手動選択で放送する場合は、外部制御入力は接続不用です。）



取付け、接続が完了したら

- 取付け、接続が完了したら次の手順で動作確認を行なってください。

① **ディップスイッチの設定を行なってください。** … 15～16ページ参照

② **ロッカー本体の制御電源パネルの電源を「入」にしてください。**

- 本機に電源が供給されます。

③ **ロッカー本体の非常業務操作パネルで書き込み設定してください。**

- 本機の接続有無および音声入力の設定が必ず必要です。
…ロッカー本体の書き込みのしかたをご参照ください。

ご注意

この書き込み設定をしないと正常に動作しません。

④ **本機で書き込み設定してください。** … 16～33ページ参照

⑤ **書き込みが終わったら、書き込み内容に間違いがないか確認してください。**

⑥ **取扱説明書に従って動作確認してください。** … 34～36ページ参照

⑦ **必要に応じて、音量調整してください。** … 36ページ参照

- 内蔵の4音チャイムの音量調整
- 外部音声入力の音量調整

ディップスイッチの設定（アドレス、外部制御設定）

●設置接続が完了しましたら下記の要領でディップスイッチの設定をしてください。

設定内容

①アドレスの設定…〔2台目以降は、アドレス設定が必要です。〕

- 本機はアドレス1に出荷時設定しております。
- 本機を2台以上接続する場合には、アドレス2、3……と順番にアドレスの設定が必要です。

ご注意

- 2台以上同じアドレス番号に設定すると正常に動作しませんのでご注意ください。
- セグメント表示部に“E-00”（通信異常）と表示された場合アドレスの誤設定の可能性がありますのでチェックしてください。

②外部制御の放送優先の設定

- 外部制御による放送と手動操作によるマイク放送は、ミキシングで放送先は加算となるよう出荷時設定されていいます。
- 外部制御が優先となるよう変更することが可能です。この変更はディップスイッチで行います。

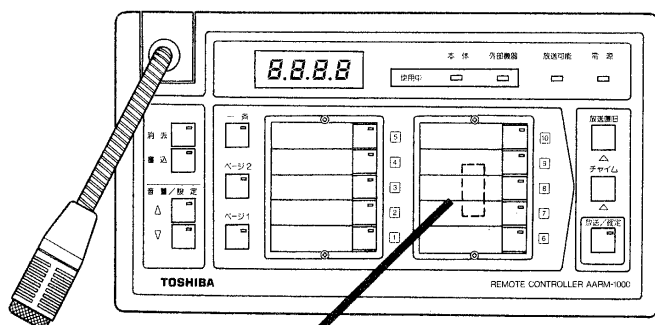
③外部制御の入力無効の設定

- 外部制御信号の受け付けを無効にすることができます。この設定はディップスイッチで行います。

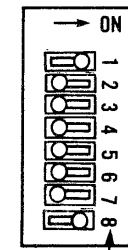
設定方法

①ブロック放送スイッチ⑥～⑩の放送先表示カードの止めねじ2本をはずし、アクリルカバーと表示カードをとりはずします。

②とりはずしたカードのほぼ中央部にディップスイッチがあります。下図のように設定してください。



ディップスイッチ



OFF ↔ ON

スイッチ番号

②外部制御の放送優先
〔設定スイッチ No. 7〕

マイク放送とミキシング （出荷時）	OFF
マイク放送より優先	ON

③外部制御の入力無効
〔設定スイッチ No. 8〕

入力有効 （出荷時）	ON
入力無効	OFF

①アドレスの設定（空欄はOFFを示します。）

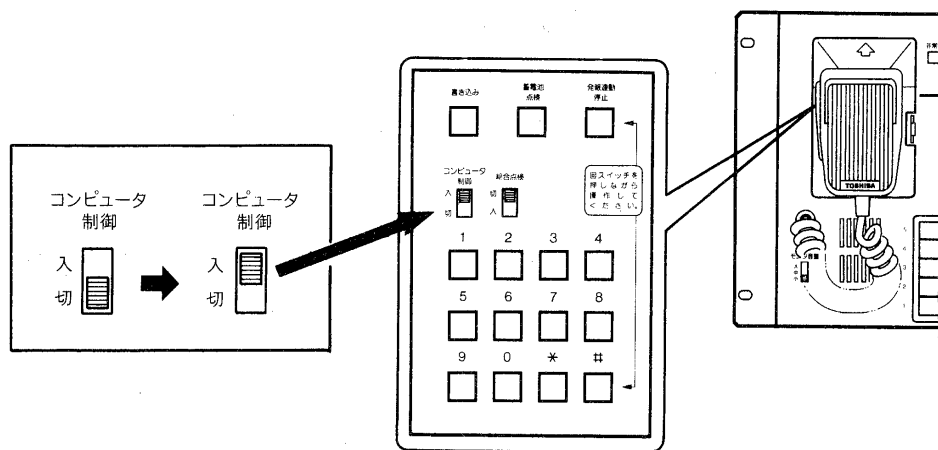
リモコン	アドレス番号	設定スイッチ No.			
		1	2	3	4
1台目（出荷時）	1	ON			
2台目	2		ON		
3台目	3	ON	ON		
4台目	4			ON	
5台目	5	ON		ON	
6台目	6		ON	ON	
7台目	7	ON	ON	ON	
8台目	8				ON
9台目	19	ON			ON
10台目	10		ON		ON
11台目	11	ON	ON		ON
12台目	12			ON	ON
13台目	13	ON		ON	ON
14台目	14		ON	ON	ON
15台目	15	ON	ON	ON	ON

ご注意

スイッチ No. 5、6 は操作しないでください。OFFのままにしておいてください。

③表示カード、アクリルカバーを取り付け、もとどおりねじ止めします。

④ロッカー形非常放送アンプ本体の非常業務操作パネルのマイク扉内にあるコンピューター制御スイッチを「切→入」します。（この操作でディップスイッチの設定内容が本体に記憶されます。）



ご注意

コンピュータ制御スイッチを「切→入」しないとディップスイッチの設定内容が読み込まれませんので、必ずこの操作を行ってください。

設定のしかた

●本機では次の項目についてセグメント表示部を見ながらスイッチ操作により書き込みし、設定できます。

■設定項目

1. ブロック放送スイッチの設定

- ブロック放送スイッチ1個で複数の任意のスピーカ回線を選択できるように設定できます。
- 設定できるブロック放送スイッチは、ページ1のスイッチ1～10、ページ2のスイッチ1～10の計20局あります。

2. マイク音量の設定

- マイク放送時の音量をあらかじめ設定できます。

3. 一斉放送動作の設定

- 一斉スイッチを操作したときの一斉放送の動作を下記①～④のうちから選択して指定できます。
 - ①全回線一斉通常（アッテネータのきく）放送
 - ②全回線一斉緊急（アッテネータのきかない）放送
 - ③ブロックスイッチ1～20に割り付けたスピーカ回線一斉（アッテネータのきく）通常放送
 - ④ブロックスイッチ1～20に割り付けたスピーカ回線一斉（アッテネータのきかない）緊急放送

4. 優先の設定

- マルチリモコン間の放送の優先を次のうちから選択して、指定することができます。
 - ①後取り優先……後から操作したマルチリモコンが優先します。
 - ②先取り優先……先に操作したマルチリモコンが優先します。
 - ③最優先……他のマルチリモコンより常に優先します。
- 入力マトリクスパネルを使用した多元放送では、入力マトリクスパネルの各入力系統毎に接続したマルチリモコンの間での優先の設定となります。

〔設定のしかた〕

- ①まず、他のマルチリモコンより優先して使用したいマルチリモコンは、「最優先」設定します。
- ②その他のマルチリモコンをすべて「後取り優先」か「先取り優先」に設定します。

5. 外部制御入力の設定

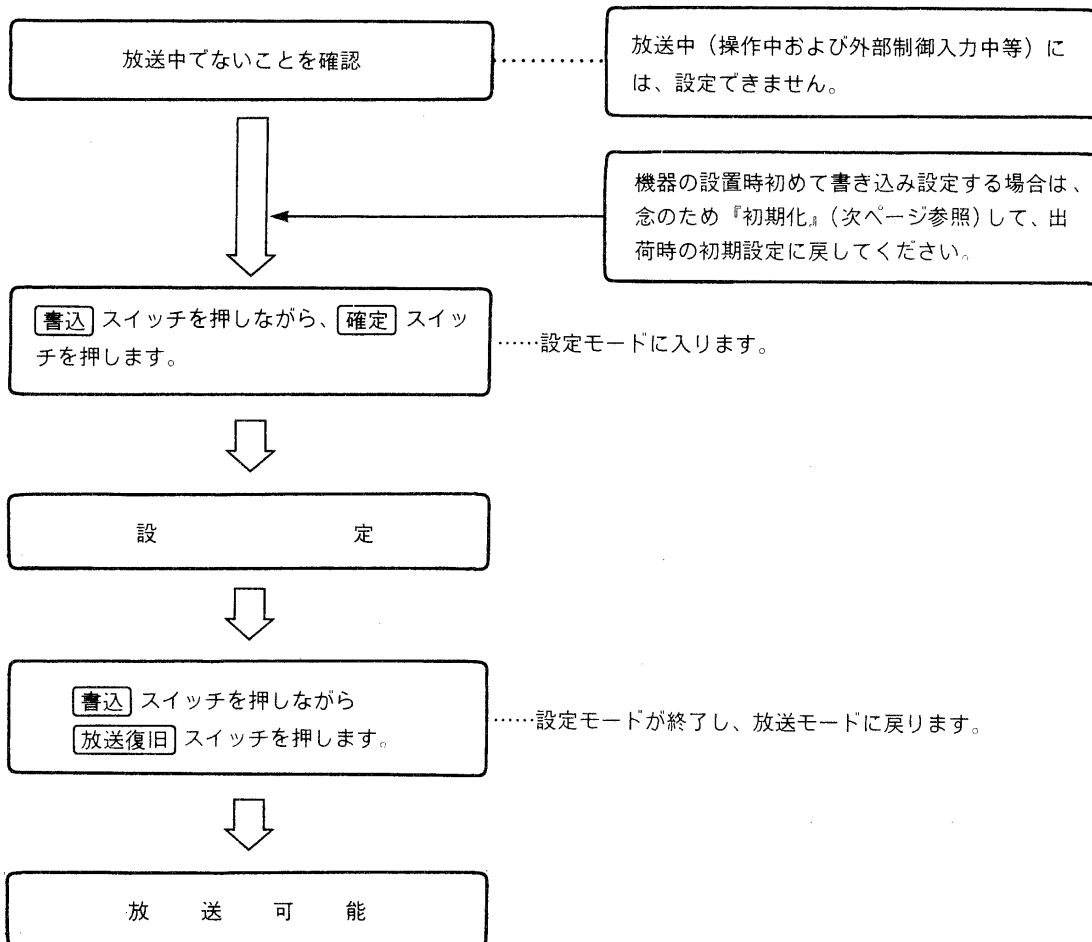
- 外部制御入力（1,2）で複数の任意のスピーカ回線が選択されるように設定できます。

■ 出荷時の初期設定内容

項 目	初 期 設 定 内 容
① ブロック放送スイッチの設定	下記のようにして設定してあります。 ページ 1 ブロック放送スイッチ 1 …スピーカ回線 1 ⋮ ブロック放送スイッチ 10 …スピーカ回線 10 ページ 2 ブロック放送スイッチ 1 …スピーカ回線 11 ⋮ ブロック放送スイッチ 10 …スピーカ回線 20
② マイク音量の設定	フレキシブルマイクの入力感度が定格より -14dB 低い感度に設定してあります。 (セグメント表示値： 50)
③ 一斉放送動作の設定	全回線一斉で通常（アッテネータのきく）放送となるよう設定してあります。
④ 優先の設定	後取り優先に設定してあります。
⑤ 外部制御入力の設定	下記のように制御されるよう設定してあります。 外部制御入力 1：スピーカ回線 1～10 外部制御入力 2：スピーカ回線 11～20

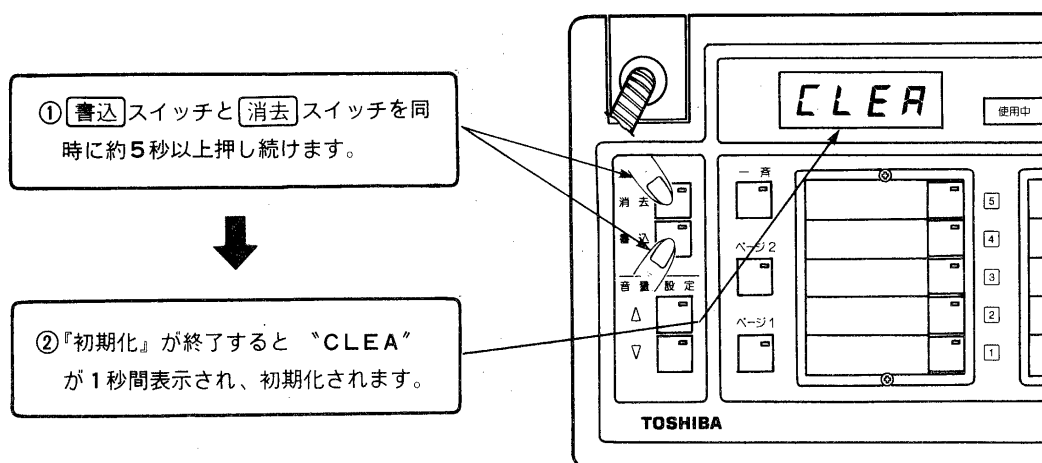
■ 設定の手順

- 基本的な操作手順は下記のとおりです。



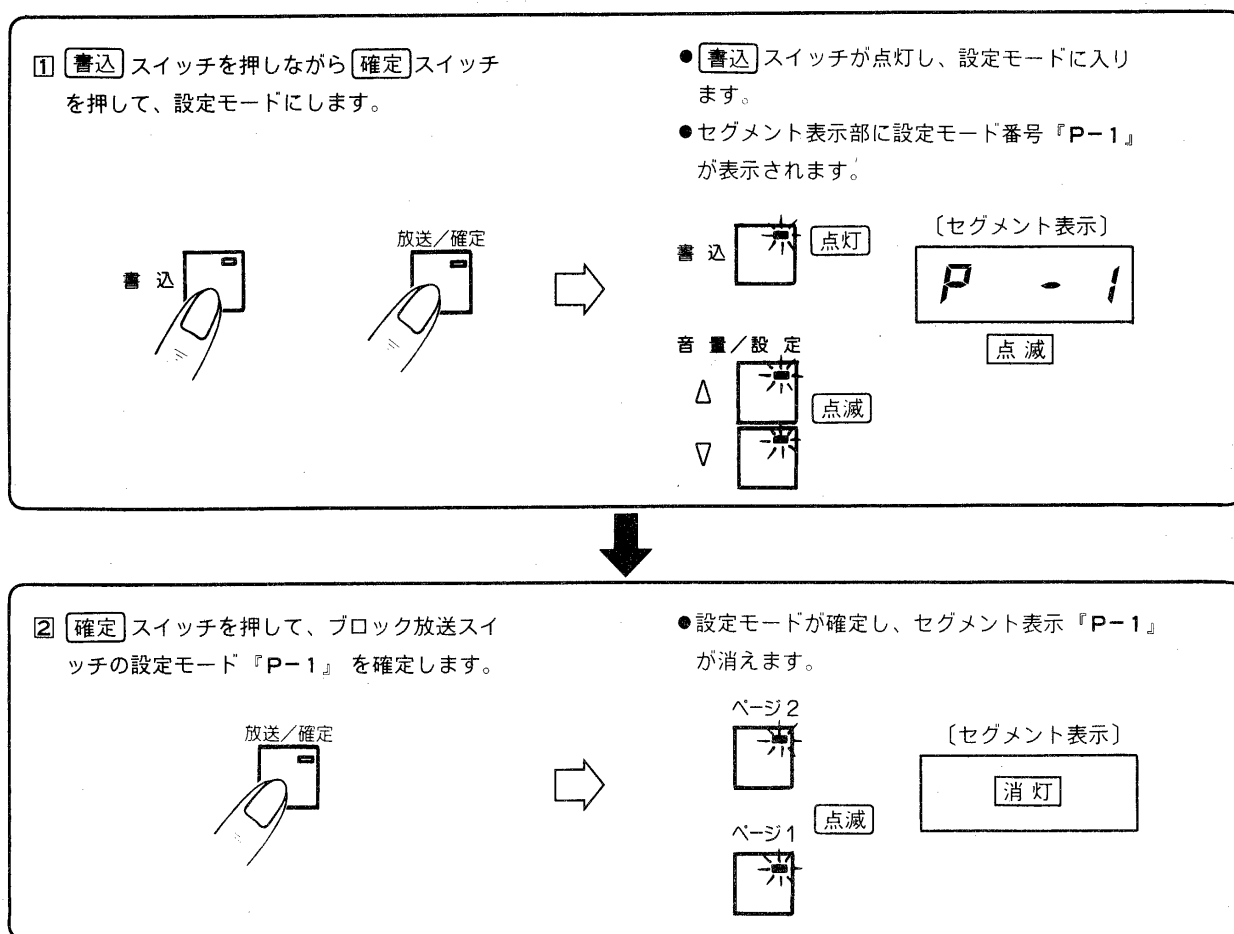
■初期化のしかた

- 設定内容を「出荷時の初期設定」の内容に戻したいときは、次の手順で行なってください。

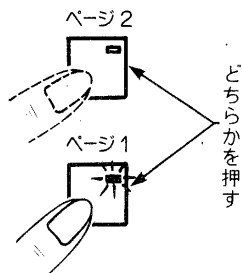


- ロッカー本体の電源のOFF等では設定内容は、消去、初期化はされません。

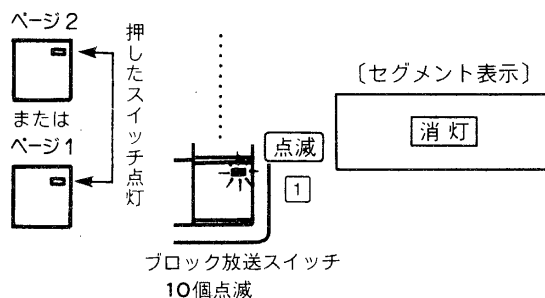
■ブロック放送スイッチの設定〔設定モード番号：P-1〕



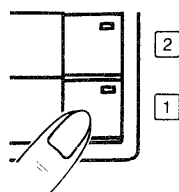
- ③ 点滅している **ページ1** または **ページ2** スイッチを押してページを選択します。



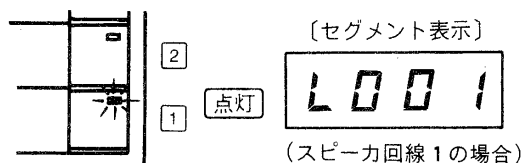
- 選択したページスイッチが点灯に変わりページが確定します。



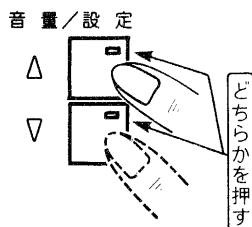
- ④ 設定するブロック放送スイッチを押します。



- セグメント表示部には、そのスイッチに設定されているスピーカ回線のうち最も小さい番号が表示されます。
- 選択したブロック放送スイッチが点灯します。



- ⑤ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して、ブロック放送スイッチに割りつけるスピーカ回線の番号をセグメント表示部に表示します。

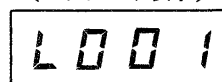


表示のしかた

- 設定されている回線 : **点灯** 表示
未設定の回線 : **点滅** 表示

〔初期設定〕

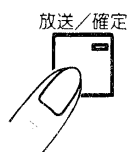
- ページ1のスイッチ1～10 : [セグメント表示] スピーカ回線1～10
- ページ2のスイッチ1～10 : スピーカ回線11～20



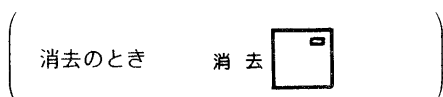
- ※ 設定されているスピーカ回線を全て削除すると、そのスイッチは動作しません。

- 押し続けると早送りとなります。

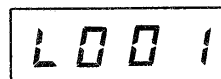
- ⑥ **確定** (**消去**) スイッチを押して、確定 (消去) します。



- **確定** スイッチを押すとそのスピーカ回線が確定します。
- セグメント表示は点滅→点灯に変わります。
- **消去** スイッチを押すとそのスピーカ回線が削除されます。
- セグメント表示は、点灯→点滅に変わります。



〔セグメント表示〕



⑦ 上記の⑤～⑥の手順をくり返し行ない割り付ける全てのスピーカ回線を確定させます。



⑧ **書込** スイッチを押して、割り付けたスピーカ回線を書き込み記憶させます。

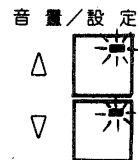


⑨ 上記の④～⑧の手順をくり返し行ない、他のブロック放送スイッチも同様に書き込み記憶させます。



⑩ **放送復旧** スイッチを押して、①の手順にもどします。

●セグメント表示部に『P-1』が表示されます。



点減

〔セグメント表示〕

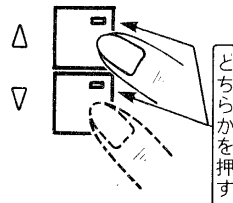


点減

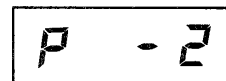
他の設定をするとき

⑪ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して、他の設定モード番号をセグメント表示部に出します。

音量/設定



〔セグメント表示〕



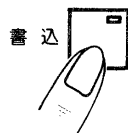
(設定モード2の場合)

●選択した設定の手順②の状態となります。
以降の手順に従って操作します。

設定を終了するとき

⑫ **書込** スイッチを押しながら **放送復旧** スイッチを押します。

●**書込** スイッチが消灯し設定モードから抜けます。

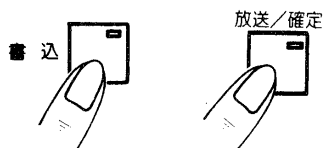


〔セグメント表示〕

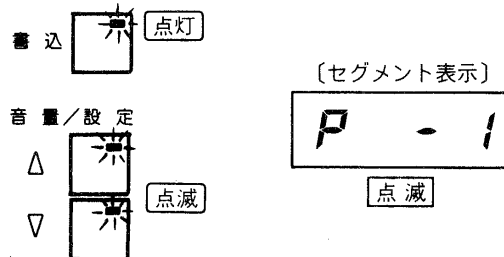
消灯

■マイク音量の設定〔設定モード番号：P-2〕

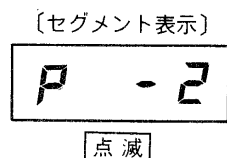
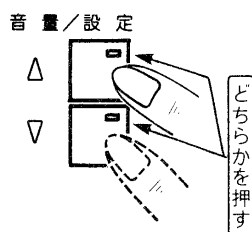
- ① **書込** スイッチを押しながら**確定** スイッチを押して、設定モードに入ります。



- **書込** スイッチが点灯し、設定モードに入ります。
- セグメント表示部に設定モード番号『P-1』が表示されます。



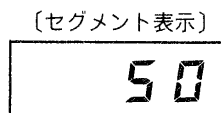
- ② **設定△** または **設定▽** スイッチを押して、マイク音量の設定モード『P-2』をセグメント表示部に表示します。



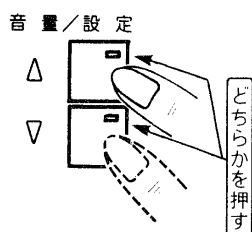
- ③ **確定** スイッチを押してマイク音量の設定モード『P-2』を確定します。



- 設定モードが確定し、セグメント表示部に設定されている音量レベルが表示されます。



- ④ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して音量を選択します。



- 0（最小）～99（最大）まで設定できます。

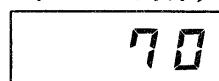
表示のしかた

設定されている音量：点灯 表示

未設定の音量：点滅 表示

〔初期設定〕 50

〔セグメント表示〕



（70の場合）

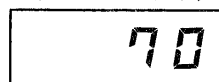
- 押し続けると早送りとなります。

- ⑤ **書込** スイッチを押して、書き込み記憶させます。



- セグメント表示が点滅→点灯に変わり、書き込み記憶が完了します。

〔セグメント表示〕



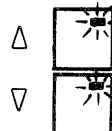
点灯

- ⑥ **放送復旧** スイッチを押して②の手順にもどします。

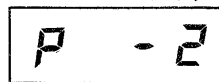


- セグメント表示部に『P-2』が表示されます。

音量/設定



〔セグメント表示〕



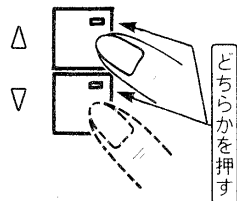
点滅

点滅

他の設定をするとき

- ⑦ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して他の設定モード番号をセグメント表示部に出します。

音量/設定



〔セグメント表示〕

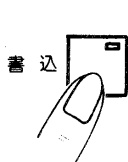


(設定モード3の場合)

- 選択した設定の手順②の状態となります。以降の手順に従って操作します。

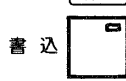
設定を終了するとき

- ⑧ **書込** スイッチを押しながら **放送復旧** スイッチを押します。

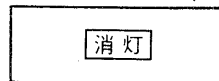


- 書込** スイッチが消灯し、設定モードから抜けます。

消灯

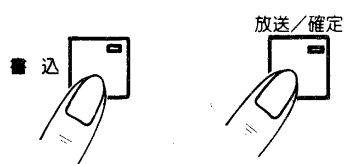


〔セグメント表示〕

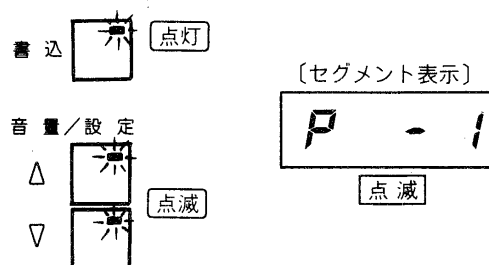


■一斉放送動作の設定〔設定モード番号：P-3〕

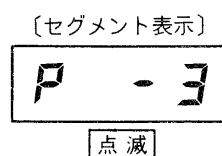
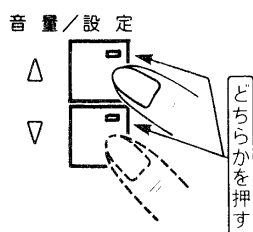
- ① **書込** スイッチを押しながら **確定** スイッチを押して、設定モードに入ります。



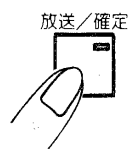
- **書込** スイッチが点灯し、設定モードに入ります。
- セグメント表示部に設定モード番号『P-1』が表示されます。



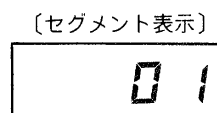
- ② **設定Δ** または **設定▽** スイッチを押して、一斉放送作動の設定モード『P-3』をセグメント表示部に表示します。



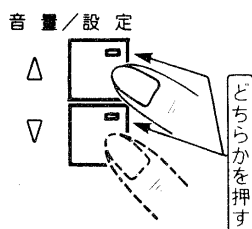
- ③ **確定** スイッチを押して一斉放送動作の設定モード『P-3』を確定します。



- 設定モードが確定し、セグメント表示部に設定されている動作の番号が表示されます。



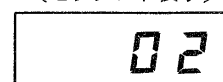
- ④ **設定Δ** または **設定▽** スイッチを押して動作を選択します。



- 次のいずれかの動作に設定できます。

表示番号	動作
01	全回線一斉（通常）
02	全回線一斉（緊急）
03	スイッチ一斉（通常）
04	スイッチ一斉（緊急）

〔セグメント表示〕



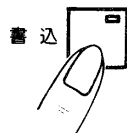
表示のしかた

設定されているモード：点灯 表示

設定されていないモード：点滅 表示

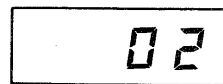
〔初期設定〕 01

⑤ **書込** スイッチを押して書き込み記憶させます。



●セグメント表示が点滅→点灯に変わり、書き込み記憶が完了します。

〔セグメント表示〕



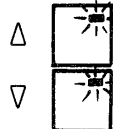
点灯

⑥ **放送復旧** スイッチを押して②の手順にもどします。



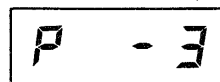
●セグメント表示部に『P-3』が表示されます。

音量/設定



点滅

〔セグメント表示〕

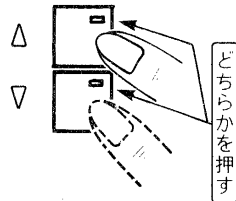


点滅

他の設定をするとき

⑦ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して他の設定モード番号をセグメント表示部に出します。

音量/設定



〔セグメント表示〕

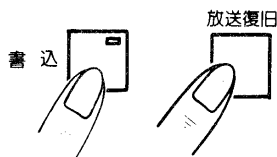


(設定モード4の場合)

●選択した設定の手順②の状態となります。
以降の手順に従って操作します。

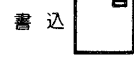
設定を終了するとき

⑧ **書込** スイッチを押しながら **放送復旧** スイッチを押します。

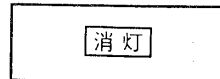


●**書込** スイッチが消灯し、設定モードから抜けます。

消灯

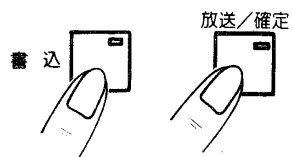


〔セグメント表示〕

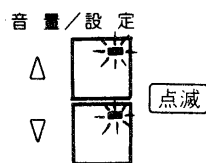


■優先の設定〔設定モード番号：P-4〕

- ① **書込** スイッチを押しながら **確定** スイッチを押して、設定モードに入ります。



- **書込** スイッチが点灯し、設定モードに入ります。
- セグメント表示部に設定モード番号『P-1』が表示されます。

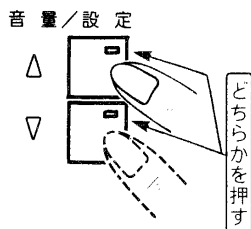


〔セグメント表示〕

P - 1

点滅

- ② **設定△** または **設定▽** スイッチを押して優先の設定モード『P-4』を選択します。

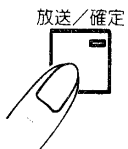


〔セグメント表示〕

P - 4

点滅

- ③ **確定** スイッチを押して優先の設定モード『P-4』を確定します。

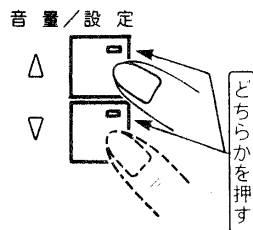


〔セグメント表示〕

0 1

- 設定されている優先内容の番号を表示

- ④ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して優先内容を選択します。



- 次のいずれかの優先動作に設定できます。

表示番号：優先内容

- 01：後取り優先
- 02：先取り優先
- 03：最優先

〔セグメント表示〕

0 2

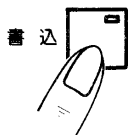
表示のしかた

設定されている優先モード：点灯 表示

設定されていない優先モード：点滅 表示

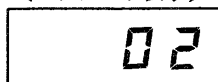
〔初期設定〕 0 1

⑤ **書込** スイッチを押して、書き込み記憶させます。



●セグメント表示が点滅→点灯に変わり書き込み記憶が完了します。

〔セグメント表示〕



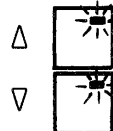
点灯

⑥ **放送復旧** スイッチを押して②の手順にもどします。

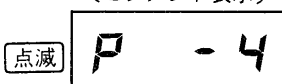


●セグメント表示部に『P-4』が表示されます。

音量／設定



〔セグメント表示〕



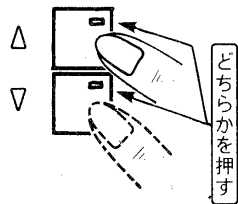
点滅

点滅

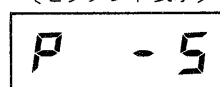
他の設定をするとき

⑦ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して他の設定モード番号をセグメント表示部に出します。

音量／設定



〔セグメント表示〕

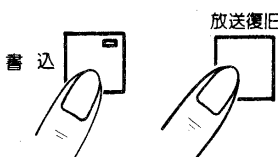


(設定モード5の場合)

●選択した設定の手順②の状態となります。以降の手順に従って操作します。

設定を終了するとき

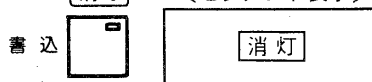
⑧ **書込** スイッチを押しながら **放送復旧** スイッチを押します。



●**書込** スイッチが消灯し、設定モードから抜けます。

消灯

〔セグメント表示〕

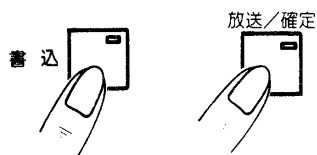


書込

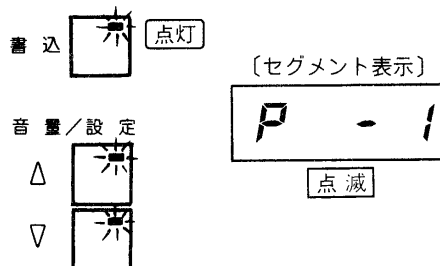
消灯

■外部制御入力の設定〔設定モード番号：P-5〕

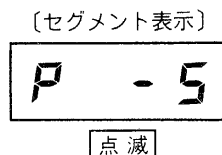
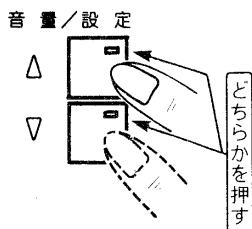
- ① **書込** スイッチを押しながら **確定** スイッチを押して、設定モードに入ります。



- **書込** スイッチが点灯し、設定モードに入ります。
- セグメント表示部に設定モード番号『P-1』が表示されます。



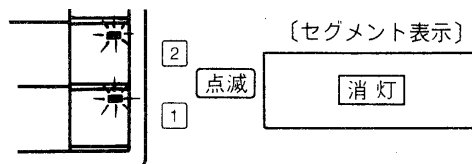
- ② **設定△** または **設定▽** スイッチを押して、外部制御入力の設定モード『P-5』をセグメント表示部に表示します。



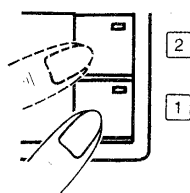
- ③ **確定** スイッチを押して外部制御入力の設定モード『P-5』を確定します。



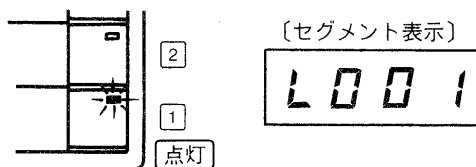
- 設定モードが確定し、セグメント表示が消灯します。
- ブロック放送スイッチ①、②が点滅します。



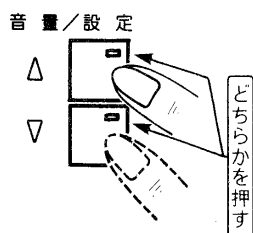
- ④ ブロック放送スイッチ① (②) を押して、外部制御入力 1 (2) を選択します。
ブロック放送スイッチ①は外部制御入力 1 に
ブロック放送スイッチ②は外部制御入力 2 に対応しています。



- 外部制御入力を選択されそのスイッチが点灯します。
- セグメント表示部に設定されている放送スピーカ回線のうち一番小さい番号が表示されます。



- ⑤ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して、スピーカ回線の番号をセグメント表示部に出します。



●押し続けると早送りとなります。

表示のしかた

設定されている回線 : **点灯** 表示

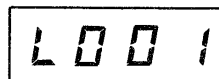
設定されていない回線 : **点滅** 表示

〔初期設定〕

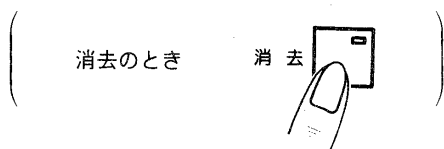
外部制御入力 1 : スピーカ回線 1～10

外部制御入力 2 : スピーカ回線 11～20

〔セグメント表示〕



- ⑥ **確定** (**消去**) スイッチを押して確定 (消去) します。



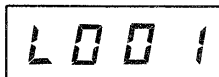
- **確定** スイッチを押すとそのスピーカ回線が確定します。

- セグメント表示は、点滅→点灯に変わります。

- **消去** スイッチを押すとそのスピーカ回線が削除されます。

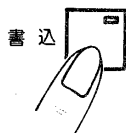
- セグメント表示は点灯→点滅に変わります。

〔セグメント表示〕



- ⑦ 上記の⑤～⑥の手順をくり返し行ない、割り付ける全てのスピーカ回線を確定させます。

- ⑧ **書込** スイッチを押して、割り付けたスピーカ回線を書き込み記憶させます。



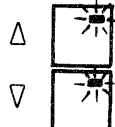
- ⑨ 上記の④～⑧の手順をくり返し行ない、他の外部制御入力も同様に書き込み記憶させます。

- ⑩ **放送復旧** スイッチを押して②の手順にもどします。



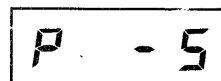
- セグメント表示部に『P-5』が表示されます。

音量/設定



点滅

〔セグメント表示〕

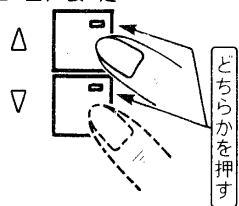


点滅

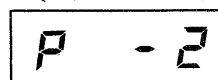
他の設定をするとき

- ⑪ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して他の設定モード番号をセグメント表示部に出します。

音量／設定



〔セグメント表示〕

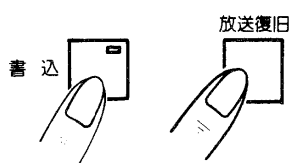


(設定モード2の場合)

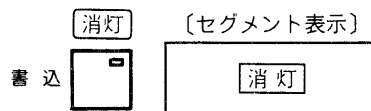
- 選択した設定の手順②の状態となります。以降の手順に従って操作します。

設定を終了するとき

- ⑫ **書込** スイッチを押しながら **放送復旧** スイッチを押します。

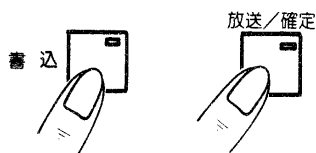


- **書込** スイッチが消灯し、設定モードから抜けます。

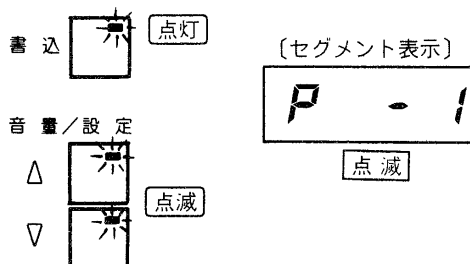


■ブロック放送スイッチの確認〔確認モード番号：P-6〕

- ① **書込** スイッチを押しながら **確定** スイッチを押して、設定モードに入ります。

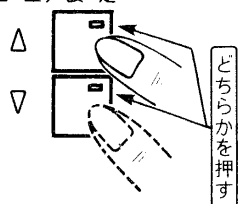


- **書込** スイッチが点灯し、設定モードに入ります。
- セグメント表示部に設定モード番号『P-1』が表示されます。

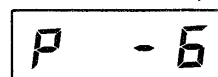


- ② **設定△** または **設定▽** スイッチを押して、ブロック放送スイッチの確認モード『P-6』をセグメント表示部に出します。

音量／設定



〔セグメント表示〕

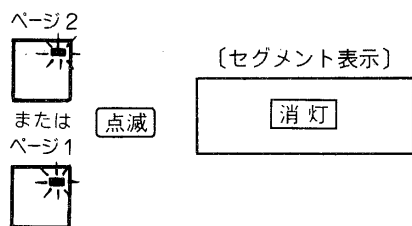


点滅

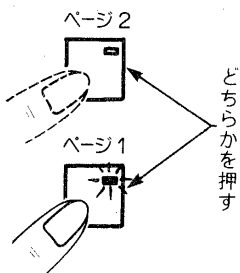
- ③ **確定** スイッチを押してブロック放送スイッチの確認モード『P-6』を確定します。



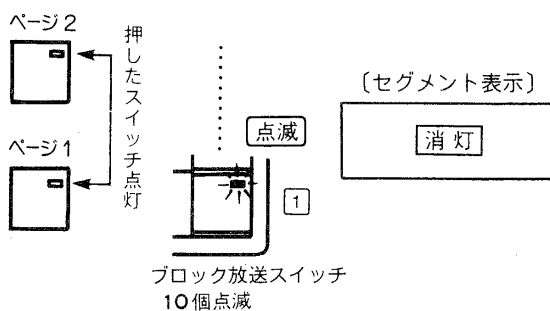
- 確認モードが確定し、セグメント表示が消灯します。
- ページ1**、**ページ2** スイッチが点滅します。



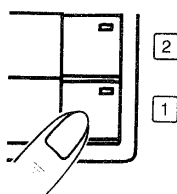
- ④ 点滅している**ページ1**または**ページ2**スイッチを押して、ページ選択します。



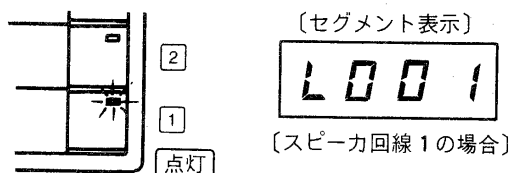
- 選択したページスイッチが点灯に変わり、ページが確定します。



- ⑤ 確認するブロック放送スイッチを押します。

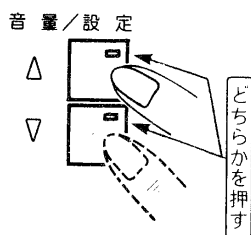


- 選択したブロック放送スイッチが点灯し、セグメント表示部には、そのスイッチに設定されているスピーカ回線のうち最も小さい番号が表示されます。



※スピーカ回線が設定されていないと『L000』が表示されます。

- ⑥ **設定△**または**設定▽**スイッチを押して、設定されているスピーカ回線を確認します。



- 次の手順でセグメント表示で、設定されているスピーカ回線を確認します。
設定△を押すと：押す毎に次に番号の大きいスピーカ回線が表示されます。
設定▽を押すと：押す毎に次に番号の小さいスピーカ回線が表示されます。



- 押し続けると早送りとなります。

⑦ 上記の④～⑥の手順をくり返し行ない、その他の放送先選択スイッチも同様に確認します。

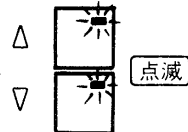


⑧ **放送復旧**スイッチを押して②の手順にもどします。

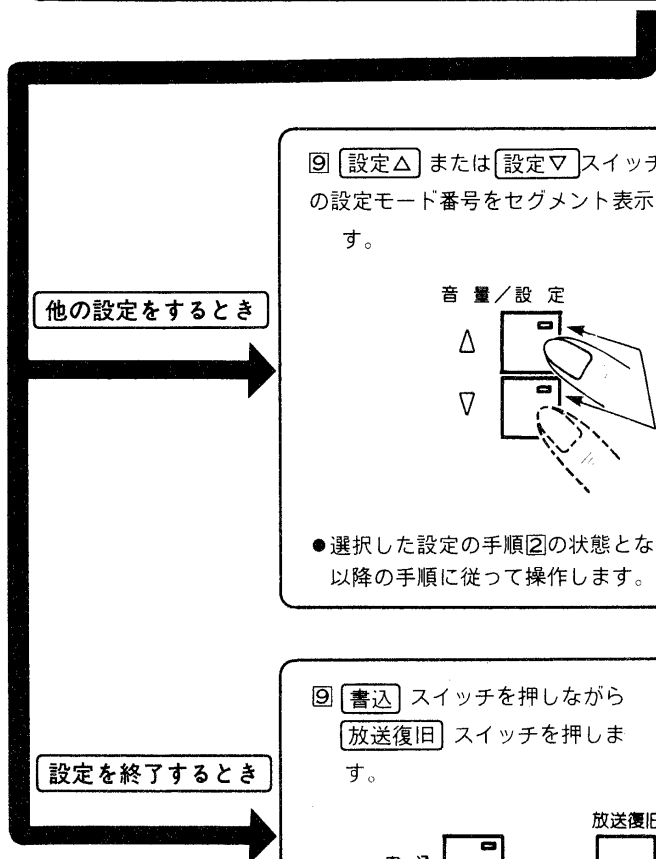
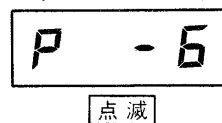


●セグメント表示部に『P-6』が表示されます。

音 量 / 設 定

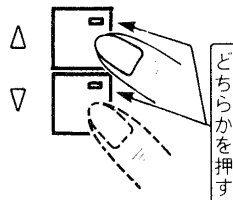


〔セグメント表示〕

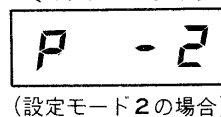


⑨ **設定△** または **設定▽** スwitchを押して他の設定モード番号をセグメント表示部に出します。

音 量 / 設 定



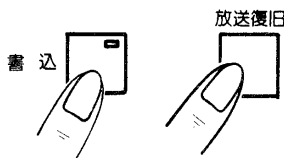
〔セグメント表示〕



(設定モード2の場合)

●選択した設定の手順②の状態となります。
以降の手順に従って操作します。

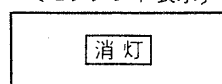
⑩ **書込** スwitchを押しながら
放送復旧 スwitchを押します。



●**書込** スwitchが消灯し、設定モードから抜けます。



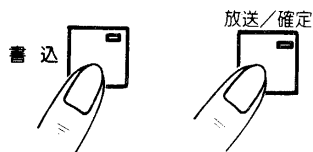
〔セグメント表示〕



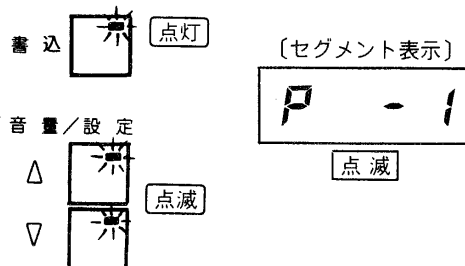
●動作(放送)モードに戻ります。

■ 外部制御入力の確認〔確認モード番号：P-7〕

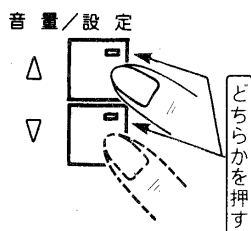
- ① **書込** スイッチを押しながら **確定** スイッチを押して設定モードに入ります。



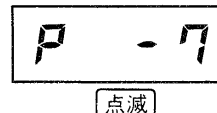
- **書込** スイッチが点灯し、設定モードに入ります。
- セグメント表示部に設定モード番号『P-1』が表示されます。



- ② **設定Δ** または **設定▽** スイッチを押して、外部制御入力の確認モード『P-7』をセグメント表示に出します。

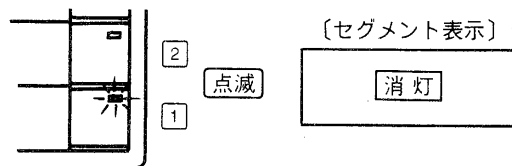
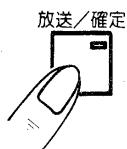


〔セグメント表示〕



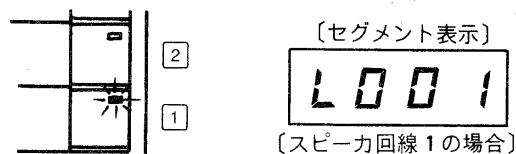
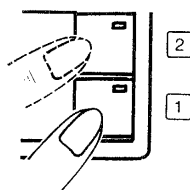
- ③ **確定** スイッチを押して、外部制御入力の確認モード『P-7』を確定します。

- 設定モードが確定し、セグメント表示が消灯します。
- ブロック放送スイッチ①、②が点滅します。

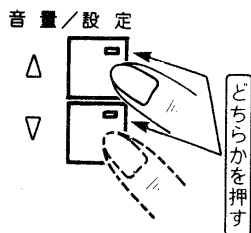


- ④ ブロック放送スイッチ① (②) を押して、外部制御入力 1 (2) を選択します。
ブロック放送スイッチ①は外部制御入力 1 に
ブロック放送スイッチ②は外部制御入力 2 に
対応しています。

- 外部制御入力を選択されそのスイッチが点灯します。
- セグメント表示部に設定されている放送スピーカ回線のうち一番小さい番号が表示されます。



- ⑤ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して、設定されているスピーカ回線を確認します。



- 次の手順でセグメント表示で、設定されているスピーカ回線を確認します。
設定△ を押すと：押す毎に次に番号の大きいスピーカ回線が表示されます。
設定▽ を押すと：押す毎に次に番号の小さいスピーカ回線が表示されます。

〔セグメント表示〕

L 0 0 1

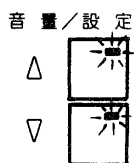
- 押し続けると早送りとなります。

- ⑥ 上記の④～⑤の手順をくり返し行ない、他の外部制御入力も同様に確認します。

- ⑦ **放送復旧** スイッチを押して②の手順にもどします。



- セグメント表示部に『P-7』が表示されます。



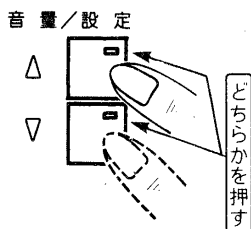
〔セグメント表示〕

P - 7

点滅

他の設定をするとき

- ⑧ **設定△** または **設定▽** スイッチを押して、他の設定モード番号をセグメント表示部に出します。



〔セグメント表示〕

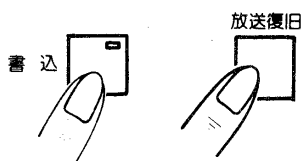
P - 2

(設定モード2の場合)

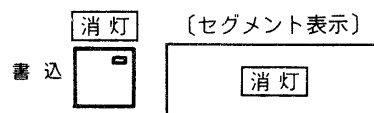
- 選択した設定の手順②の状態となります。以降の手順に従って操作します。

設定を終了するとき

- ⑧ **書込** スイッチを押しながら **放送復旧** スイッチを押します。



- **書込** スイッチが消灯し、設定モードから抜けます。



〔セグメント表示〕

消灯

- 動作（放送）モードに戻ります。

放送のしかた

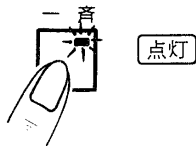
●次の状況では放送できませんのでご注意ください。

- (1)ロッカー本体で非常放送しているとき（本機電源表示灯が消灯します。）
- (2)ロッカー本体で書き込みモードになっているとき
- (3)ロッカー本体の電源が停電のとき

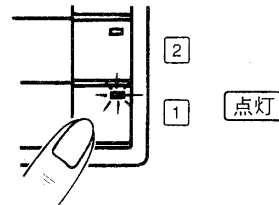
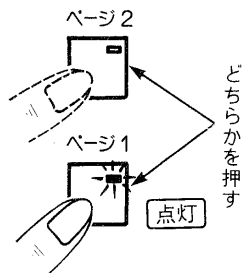
■フレキシブルマイクでの放送

①放送先を選択します。

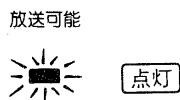
- 一斉放送のとき……一斉放送スイッチ⑬を押します。（再度押すと解除されます。）



- ブロック放送のとき…ページ1スイッチ⑭または、ページ2スイッチ⑮を押して、ページを選択した後、ブロック放送スイッチ⑪を押します。（ブロック放送スイッチを再度押すと選択が解除されます。）



②放送可能表示灯⑥が点灯していることを確認します。



- 優先設定の高い他機が放送中には、放送可能表示灯は点灯せず、放送できません。

ご注意

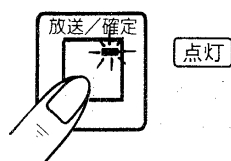
- 多元放送システムで、他機放送中には選択したスピーカ回線がすべて放送できない場合があります。
- この場合は放送できないブロック放送スイッチは、点滅表示します。放送可能なブロックスイッチは点灯します。

③4音チャイム放送する場合は、チャイムスイッチ⑨を押します。



- 4音チャイム（ピン、ボン、パン、ボン）が1回放送されます。

④放送スイッチ⑩を押します。



- 放送/確定** スwitchの表示灯が点灯し、フレキシブルマイクで放送できる状態になります。

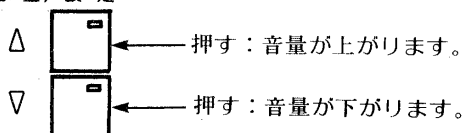
ご注意

- 放送スイッチを押さないと、マイク放送ができませんのでご注意ください。

⑤マイク放送します。

⑥フレキシブルマイクの音量を変えたい場合は、**音量/設定△** スイッチ⑬または **音量/設定▽** スイッチ⑭を押します。

音 量 / 設 定

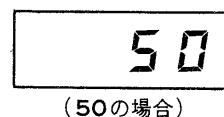


●押し続けると早送りとなります。

ご注意

●変更された音量レベルは、放送を終え放送復旧するとクリアされ、次の操作では設定された音量レベルに戻ります。

●音量レベルがセグメント表示部に表示されます。
(約2秒後に自動的に消えます)



(50の場合)

⑦放送が終了したら放送復旧スイッチ⑧を押します。



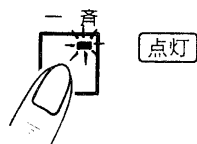
●ブロック放送スイッチおよび **放送/確定** スイッチの表示灯が消灯し、スピーカ回線の選択が解除されます。

■外部音声入力による放送

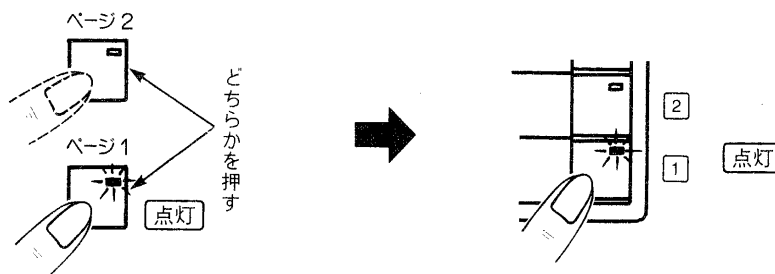
●手動操作による放送

①放送先を選択します。

●一斉放送のとき……一斉放送スイッチ⑩を押します。(再度押すと解除されます)



●ブロック放送のとき…ページ1スイッチ⑪または、ページ2スイッチ⑫を押して、ページを選択した後、ブロック放送スイッチ⑩を押します。(ブロック放送スイッチを再度押すと選択が解除されます)



②放送可能表示灯⑥が点灯していることを確認します。

③外部機器を動作させます。

●外部機器の音量を適切な音量となるように調節してください。

●外部制御入力による放送

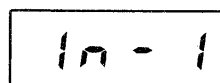
①外部制御入力端子1または2に無電圧メイク接点を入力(継続)します。

●あらかじめ設定された放送先(スピーカ回線)が自動的に選択されます。

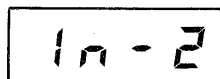
●セグメント表示部に外部制御入力の番号が次のように表示されます。

〔セグメント表示〕

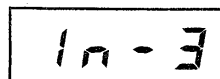
〔制御入力1に信号が入ると〕……



〔制御入力2に信号が入ると〕……



〔制御入力1、2ともに信号が入ると〕……



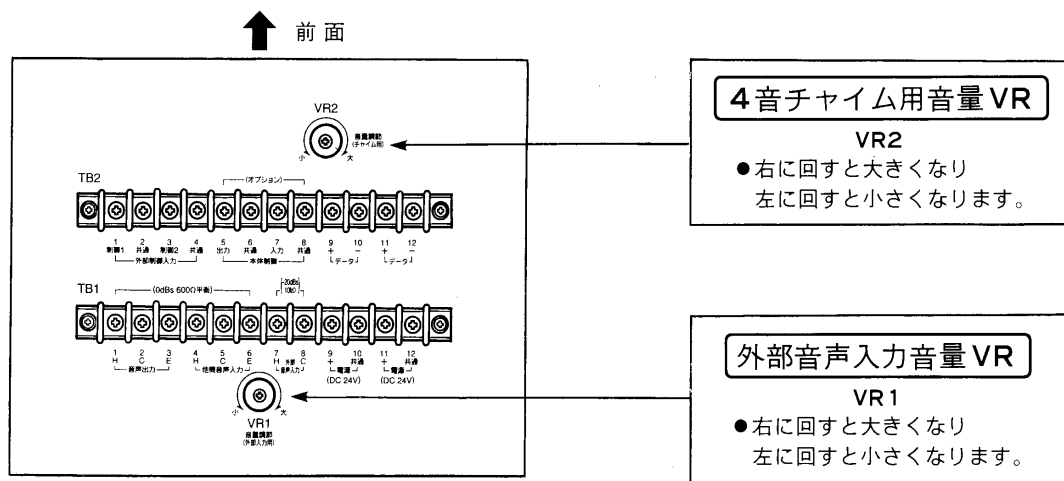
②外部機器より音声を入力します。

- 選択されたスピーカ回線に放送されます。
- マイク放送と同時に行了った場合はミキシングとなります。

(マイク放送より優先したい場合は、ディップスイッチの設定変更が必要です。…15～16 ページ参照)

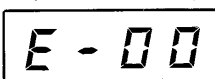
調整のしかた

- 内蔵の4音チャイムおよび外部音声入力の音量は、底面の半固定ボリュームで調整できます。



ちょっとお調べください

- 故障かな?…とお思いのときは、修理サービスをご依頼になる前に次の点をお調べください。

症 状	お 調 べ い た だ く 内 容
■電源表示灯⑦が点灯しない。	●電源ケーブルが正しく接続されていますか? …10～14 ページ参照 ●ロッカー本体の電源(制御電源パネルのブレーカ等)が入っていますか? ●ロッカー本体で非常放送していませんか? ●インターフェイスパネルのヒューズが溶断していませんか?
■セグメント表示部に下記エラー表示が出る。 [セグメント表示]  ※通信異常時表示されます。	●ディップスイッチのアドレスは正しく設定されていますか? …15～16 ページ参照 ●ロッカー本体でのマルチリモコンに関する設定は正しく設定されていますか? …ロッカー本体の書き込みのしかた参照 ●データ用ケーブルが正しく接続されていますか?
■マイク放送ができない。	●放送/確定スイッチ⑩が点灯していますか? →消灯時はスイッチを押してください。 ●放送可能表示灯⑥が点灯していますか? →消灯していると優先度の高い他機器放送中で、放送できません。 他機器の放送終了後放送してください。
■マイク放送の音量が小さい。(大きい)。	●音量ボリュームの設定が適正ですか? →音量を音量/設定△、▽スイッチで調整してください。 …21～22、35 ページ参照
■4音チャイム音が小さい。(大きい)。	●4音チャイム用ボリュームの調整が適正ですか? →底面の音量ボリュームをVR2で調整してください。 …調整のしかた(上記)参照

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、取扱説明書をよくお読みのうえ、『ちょっとお調べください』の項目を点検していただきなお異常があるときは、お使いになるのをやめ、ロッカー本体から供給電源を「切」にし、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名(AARM-1000)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕 様

電 源	DC 24V（ロッカー形非常放送アンプ本体より供給）
消 費 電 流	待受け時：DC 150mA 最大時：DC 300mA
音 声 入 力	フレキシブルマイク入力：-55dB 600Ω（不平衡）…1回路 （電子ボリューム付） 外部入力：-20dB 10kΩ（不平衡）…1回路 （半固定ボリューム付） 他機音声入力：-20dB 600Ω（平衡）……1回路 （他機マルチリモコンの音声进行中継時使用） ※4音チャイム内蔵
音 声 出 力	0dB 600Ω 平衡…1回路
S / N	60dB以上
歪 率	0.5%以下
周 波 数 特 性	50Hz～15kHz±3dB以内 （フレキシブルマイク入力は、100Hz～10kHz±3dB以内）
放 送 先 選 択	一斉選択 20局（任意に複数スピーカ回線指定可能）
表 示	セグメント表示およびLED表示
外部制御入力	無電圧マイク接点…2回路 （放送先は任意に設定可能）
配 線 本 数	音声ライン：2芯シールド線 1本 データライン：ツイストペア線 1対 電源ライン：ツイストペア線 1対
設 置	卓上または壁取付（※1）
外 観	外 枠：樹脂 アイボリー（マンセル5Y8.5/1 近似色） 前面パネル：鋼板 アイボリー（マンセル5Y8.5/1 近似色） （文字色：グレー）
付 属 品	ヒューズ（1A）……………1 束線バンド……………2 取扱説明書……………1 お客様ご相談センター一覧表……………1

※壁取付時には、別売壁取付金具 LAD-9004が必要です。

外形寸法図

